

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.2	
Q1 室内環境					0.35	-	-	3.3	
1 音環境				3.0	0.15	-	-	3.0	
1.1 室内騒音レベル		-		3.0	0.40	-	-		
1.2 遮音		-		4.2	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		建具はT-2性能以上		5.0	0.60	-	-		
2 界壁遮音性能		-		3.0	0.40	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-		-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-		-	-	-	-		
1.3 吸音		-		1.0	0.20	-	-		
2 温熱環境				2.3	0.35	-	-	2.3	
2.1 室温制御		-		2.5	0.50	-	-		
1 室温		-		3.0	0.38	-	-		
2 外皮性能		-		1.0	0.25	-	-		
3 ゾーン別制御性		-		3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御		-		1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式		-		3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境				4.1	0.25	-	-	4.1	
3.1 昼光利用		-		4.2	0.30	-	-		
1 昼光率		昼光率:2.5%以上		5.0	0.60	-	-		
2 方位別開口		-		-	-	-	-		
3 昼光利用設備		-		3.0	0.40	-	-		
3.2 グレア対策		-		4.0	0.30	-	-		
1 昼光制御		庇+ブラインド		4.0	1.00	-	-		
3.3 照度		-		3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御		1作業単位で照明制御でき、リモコンで調整できる		5.0	0.25	-	-		
4 空気質環境				4.0	0.25	-	-	4.0	
4.1 発生源対策		-		4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		天井裏を含めほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用		4.0	1.00	-	-		
4.2 換気		-		4.0	0.30	-	-		
1 換気量		換気量の1.4倍を確保		5.0	0.33	-	-		
2 自然換気性能		-		3.0	0.33	-	-		
3 取り入れ外気への配慮		空気の取り入れ口は各種排気口と6m以上離隔して設置		4.0	0.33	-	-		
4.3 運用管理		-		4.0	0.20	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視		-		3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.5	
1 機能性				3.3	0.40	-	-	3.3	
1.1 機能性・使いやすさ		-		2.3	0.40	-	-		
1 広さ・収納性		-		3.0	0.33	-	-		
2 高度情報通信設備対応		-		1.0	0.33	-	-		
3 バリアフリー計画		-		3.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性		-		5.0	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		天井高さ4.0m以上。外部に面する窓を有する。		5.0	0.33	-	-		
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペースは執務スペースの22.48%を確保+自販機の設置		5.0	0.33	-	-		
3 内装計画		建物コンセプトに基づく内装デザインがされている		5.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理		-		3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		-		3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		-		3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.4	0.30	-	-	3.4	
2.1 耐震・免震・制震・制振		-		3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		-		3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		-		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		-		4.2	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		品確法等級2相当		4.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		カラーガルバリウム鋼板を使用		5.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		ビニルタイル等を使用		5.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:VLP(B)、排水:VP(B)、冷媒:銅(C)		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		-		3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性		-		3.6	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		-		3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		-		3.0	0.20	-	-		
3 電気設備		非常用発電機の設置、電源設備の地下設置回避等		4.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		耐震クラス:Aクラス		4.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		通信手段の多様化、精密機器の地下設置回避等		4.0	0.20	-	-		

3	対応性・更新性			3.9	0.30	-	-	3.9
	3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
		1 階高のゆとり	階高:6.1m以上	5.0	0.60	-	-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.08	5.0	0.40	-	-		
	3.2 荷重のゆとり	-	3.0	0.30	-	-		
	3.3 設備の更新性			3.8	0.40	-	-	
		1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
		2 給排水管の更新性	構造部を痛めず更新が可能	4.0	0.20	-	-	
		3 電気配線の更新性	仕上材、構造部を痛めず更新が可能である	5.0	0.10	-	-	
		4 通信配線の更新性	構造部材だけではなく、仕上げ材を痛めることなく修繕更新が可能	5.0	0.10	-	-	
		5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	バックアップ設備スペースの計画がある	4.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.35	-	-	2.8	
1 生物環境の保全と創出	-	3.0	0.30	-	-	3.0		
2 まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40	-	-	3.0		
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-			
3.2 敷地内温熱環境の向上	-	2.0	0.50	-	-			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.9	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0	
1 建物外皮の熱負荷抑制	断熱性能の高い躯体構成及び建築材を使用	5.0	0.20	-	-	5.0		
2 自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化	効率のよい設備機器を導入	4.3	0.50	-	-	4.3		
	集合住宅以外の評価	4.3	1.00	-	-			
	集合住宅の評価	-	-	-	-			
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0		
	集合住宅以外の評価	3.0	1.00	-	-			
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-		
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-		
	集合住宅の評価	-	-	-	-			
	4.1 モニタリング	-	-	-	-			
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	4.0	
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4	
	1.1 節水	自動水栓に加えて節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-		
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-		
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-		
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減			4.4	0.60	-	-	4.4	
	2.1 材料使用量の削減	機械式継手等の採用	4.0	0.11	-	-		
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.22	-	-		
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメントB種を使用	5.0	0.22	-	-		
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	グリーン購入法、エコマーク商品を採用	5.0	0.22	-	-		
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	-	-	-	-		
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LGS工法、OAフロアの採用	5.0	0.22	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3	
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-		
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-		
	1 消火剤	-	-	-	-	-		
	2 発泡剤(断熱材等)	GWP値の低い断熱材の採用	4.0	0.50	-	-		
	3 冷媒	-	3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.7	
1 地球温暖化への配慮	高効率な設備機器の採用によるCO2の削減	4.9	0.33	-	-	4.9		
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9	
	2.1 大気汚染防止	燃焼機器の設置は無い	5.0	0.25	-	-		
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	2.0	0.50	-	-		
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-		
	1 雨水排水負荷低減	指導された規模以上の流出抑制対策を実施	4.0	0.25	-	-		
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-		
	3 交通負荷抑制	-	1.0	0.25	-	-		
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2	
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-		
	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-		
	2 振動	-	-	-	-	-		
	3 悪臭	-	-	-	-	-		
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-		
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-		
	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-		
	3 日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-		
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-		
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画	5.0	0.70	-	-		
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-		

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
<b>Q2 サービス性能</b>															
1.2.3 内装計画	4.0	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0	-	○	○	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	6.0	-	-	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	3.0	2.0	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	3.0	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>															
1 生物資源の保全と創出	7.0	-	2.0	-	2.0	-	-	-	1.0	-	1.0	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.0	-	-	-	-	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	4.0	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-	2.0	-	-	-	-
<b>LR1 エネルギー</b>															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	3.0	-	-	1.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>															
2.2 温熱環境悪化の改善	2.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 主な指標

## Q1 室内環境

## 2.1.3 外皮性能

窓システムSC		窓の日射熱取得率(η)		
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁	床
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	ηAC	ηAH
昼光率	6.6%			
自然換気有効開口面積率				

## 3.1.1 昼光率

## 4.2.2 自然換気性能

## Q2 サービス性能

## 1.1.1 広さ・収納性

## 1.1.2 高度情報通信設備対応

## 1.2.1 広さ感・景観

## 1.2.2 リフレッシュスペース

## 2.2.1 躯体材料の耐用年数

## 2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

## 2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

## 2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

## 3.1.1 階高のゆとり

## 3.1.2 空間の形状・自由さ

## 3.2 荷重のゆとり

執務スペース	-	/人	病床	-	/床	シングル	-	ツイン	-
コンセント容量	-	VA/m <sup>2</sup>							
天井高	4.0m以上	1m							
リフレッシュスペース	22.5%	レストスペース	-						
想定耐用年数	50(～60)年								
想定必要間隔	30年								
想定必要間隔	30年								
想定必要間隔	0年								
階高	6.1以上	m							
壁長さ比率	8.0%								
床荷重	-	N/m <sup>2</sup>							

## Q3 室外環境(敷地内)

## 1 生物資源の保全と創出

## 3.2 敷地内温熱環境の向上

## LR1 エネルギー

## 1 建物外皮の熱負荷抑制

## 2 自然エネルギー利用

## 3 設備システムの高効率化

## 非住宅部分

## 集合住宅の評価

外構緑化指数	-	建物緑化指数	-					
空地率	-	水平投影面積率	-	地表面対策面積率	-	舗装面積率	-	
BPI/BPI <sub>m</sub>	0.56	断熱等性能等級	対象外 相当					
自然エネルギー直接利用量	-	MJ/年㎡	採光を満たす教室数	-	採光を満たす住戸数	-		
			通風を満たす教室数	-	通風を満たす住戸数	-		
			太陽光	248.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
BEI/BEI <sub>m</sub>	再エネ有	0.42	無	0.50	オフサイト再エネ有	-	-	
一次エネルギー削減率	再エネ有	無					-	

## LR2 資源・マテリアル

## 1.2.1 雨水利用システム導入の有無

## 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

## 2.5 持続可能な森林から産出された木材

## 3.2.1 消火剤

## 3.2.2 発泡剤(断熱材等)

## 3.2.3 冷媒

雨水利用率	0.0%						
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-		
使用比率	0.0%						
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)					
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	3				
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)					

## LR3 敷地外環境

## 2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	-	隣棟間隔指標 $R_w$		-					
地表面対策面積率	-	屋根面対策面積率		-	外壁面対策面積率				
見付面積 $S_b$	-	卓越風向と直交する最大敷地幅 $W_s$		-	m	基準高さ $H_b$		-	m
緑地	m <sup>2</sup>	水面	m <sup>2</sup>	保水性対策面	m <sup>2</sup>	高反射対策面	m <sup>2</sup>	再帰性反射対策面	m <sup>2</sup>